

基礎医学研究用途

事象関連電位測定プログラムシリーズ(*NoruPro Light Systems*)

EP Travel Light (オフライン ERP 解析)



EP Travel Light は、外部刺激装置からトリガ信号をポリメイト入力して PSG フォーマットで脳波を収録し、オフライン解析時にトリガ識別加算を行なって事象関連電位を測定するためのソフトウェアです。その場では結果を確認できませんが、トリガ識別を変えることで同じデータを違う条件（解析時間、フィルターなど）で再加算させることができ、研究用に最適な解析が可能になります。

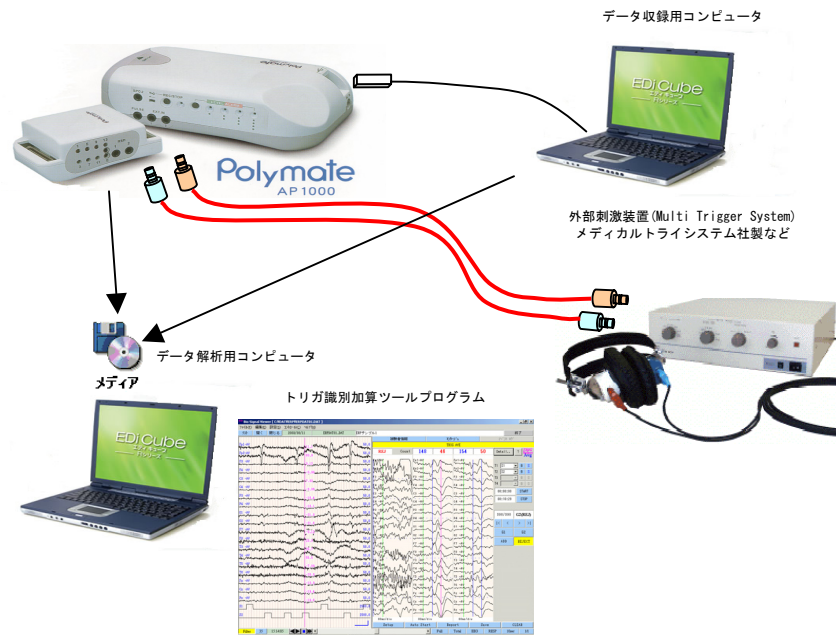
ソフトウェア構成

- トリガ識別加算ツール (*Trigger Select Average Tool*)
- 誘発波形基本ソフトウェア (*EP Multi View*)
- 再加算解析ツールプログラム (*P300/CNV ReAverage Analysis*)

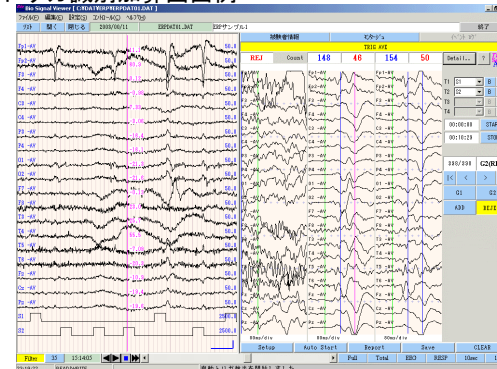
特徴

- 多チャンネル(22Ch+Trig2Ch)の計測が可能です。
- トリガ識別加算は4系統のトリガが可能です(但しポリメイト収録では2系統)。
- PSGフォーマットデータの解析が可能です。
- AP Viewerでフィルター条件などを変えて加算ができます。
- 加算結果だけでなく1刺激ごとのデータを保存し、後で再加算が可能になります。
- 誘発Viewerでは多様な波形表示手法ができ、波形グループ間の演算も簡単にできます。
- マーカー機能が充実しています。
- オプションソフトウェアを追加することでマップ解析やグランド加算が可能です。
- 操作ヘルプが充実しています。

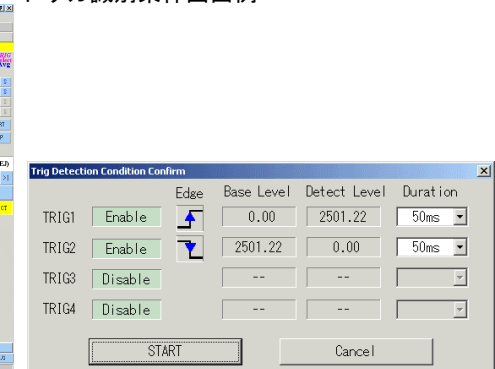
EP Travel Light の構成例 (ポリメイト、ノートPC、外部刺激装置などは含みません)



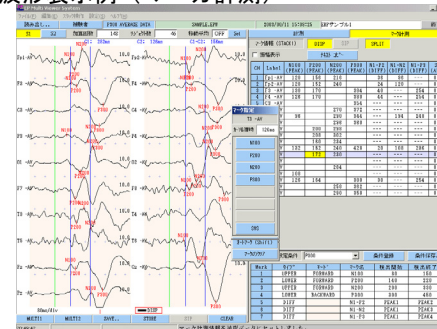
トリガ識別加算画面例



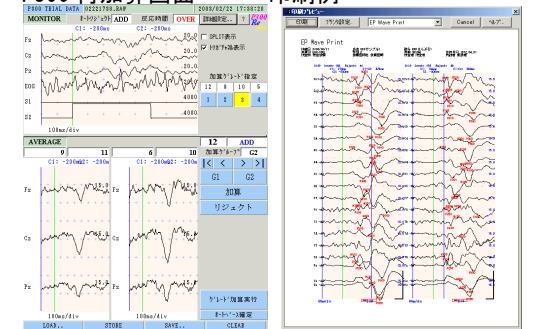
トリガ識別条件画面例



波形表示例 (マーカ計測)



P300 再加算画面



仕様

- 計測チャンネル数 最大 EEG20~23チャネル, (トリガ 1~4ch)
 - トリガチャンネル数 最大 4 系統、レベル指定可能
 - 解析区間 50ms~10sec、トリガ可能
 - オートトリジェクト 可能 (EOG1ch のレベル、ウィンドウ指定)
 - 加算方式 自動加算、マニュアル加算、グレード加算
 - 最大切り出し数 最大 5000 回 (最大時にはメモリが 512MB 以上必要)
 - ファイル保存 加算結果及びトリガごとの切り出し波形、CSV ファイル
 - マーカー機能 Viewer にてマーカー、オートマーカー可能
 - 波形表示(Viewer) 4 データの並列表示、SPLIT 表示、スカーン表示
 - 印刷 表示波形の印刷
 - 再加算 切り出し波形の任意再加算、グレード加算可能
 - グリッドボードコピー 表示波形イメージ及びテキスト形式でグリッドボードコピー
- このソフトウェアは、基礎医学研究用途にご使用ください。

動作環境

- 解析パーソナルコンピュータ (PC/AT 互換機) PentiumIII 800MHz 相当以上
- メモリ 512MB 以上、Windows7, Windows8 2GB 以上 ハードディスクの残り容量 5GB 以上
- 表示解像度 1024×768 以上 (解析時には 1280×1024 以上推奨)
- 対応 OS Windows2000, Windows Xp, Windows7, Windows8 (日本語環境)

開発元 (有) のるぷろライトシステムズ 問い合わせメール noru@fb3.so-net.ne.jp
〒185-0003 東京都国分寺市戸倉 2-11-25 TEL/FAX 042-304-1951 できるだけメールでお問い合わせください。